「語彙・読解力検定」奨励賞をいただきました。

朝日新聞　2015 年 1 月 13 日　23 面より　　承諾書番号 A14-2154　禁無断転載

まなあさ　まなぶ@朝日新聞

「今年こそ」今解き教室

「入門」新設　新年度教材からリニューアル

学校の勉強と社会を結ぶ教材として、朝日新聞社が毎月発行する総合教材「今解き教室」。3月からスタートする2015年度の教材では、新聞記事を初めて読む小学生でも取り組みやすいように「入門」問題を新設するなど、より多くの人にご利用いただける内容にリニューアルします。新たにイメージキャラクターを務める北村沙羅さん(13)、渡辺悠君(10)にも、問題を解いてもらいました。2人の感想や、教材を活用する塾の授業を通して、「今解き教室」の特長を紹介します。

養われる思考力　中学受験に最適

「今解き教室」は、朝日新聞の記事や写真、図表を活用し、現代社会が抱える様々な問題について学ぶ月刊総合教材です。毎号、環境や高齢化、食糧危機などのテーマを一つ取り上げ、深く掘り下げます。社会に対する関心を高め、資料を読み解き、自分で考える力を養います。

教材の前半部分は、解説のページです。まずは16問にわたる報道写真で、各号のテーマについて理解を深めます。国内外の幅広い分野にわたる問題もあり、文章を読む力だけではなく、様々な資料を分析する思考力を鍛えることができます。

「L2発展」は、記事を原文に近い形で利用していますが、「L1基礎」は、小学生でも読みやすいよう、やさしく書き直してあります。また、「L1基礎」では2015年度から、読解問題の最初の2本を「入門」と位置づけ、記事をより簡単にし、選択式の問題も一部に取り入れます。時事問題になじみのなかった初学者も、チャレンジしやすくなります。

今解き教室は、時事問題の出題が多い私立中学入試や、グラフなどの資料を分析する力を問われる公立中高一貫校の受験対策にも最適です。大手進学塾からも推薦いただいております。

「てた」（小4）「楽しくて分かりやすい」（小6）と好評です。

つづいて、第一線の記者が書き下ろした特集（5ページ）などを読み、最新の話題を学びます。地図や図解のページもあります。

教材の後半は、新聞記事や図表を素材にした読解問題です。グラフや写真をもとに傾向をつかんだり、データを計算したりする問題もあります。

「L2発展」は記述量が多く、少し難しいかもしれませんが、「知らないことを理解しながら解いていけるので楽しかった」と振り返った。

ASAやネットでどうぞ

「今解き教室」は、ASA（朝日新聞販売所）やインターネットの直販サイトでお求めいただけます。また、東京の紀伊国屋書店新宿本店（03・3354・0758）で最新号とバックナンバーを販売しています。

1冊あたりの税込み価格は、「L1基礎」（小4～6年向け）が1296円、「L2発展」（小6～中学生向け）が1620円です。前半の解説ページはL1とL2で同じ内容です。後半の問題ページは、難易度や分量に差をつけています。

お申し込み月から翌年2月までの購読が基本ですが、ASAでは現在、3～5月号の有料モニターを受付けています。3カ月間ご購読いただいた後、簡単なアンケートにご協力いただきます。詳しくは、今解き教室のホームページ（https://imatoki.asahi.com/）をご覧ください。

わたしたちも取り組みます

渡辺悠君の将来の夢は「ロボットを作る仕事をすること」と言う

きれいな字で解答欄を埋めた北村沙羅さんは「国語の力がつきそう」

渡辺悠君(10)

北村沙羅さん(13)

時事問題も楽しみながら

小学生の頃からテレビや舞台で活躍する中学1年の北村沙羅さんは、「今解き教室」のCMで、弟にリサイクル問題を教えるお姉さん役を演じた。「でも、学校では時事問題をあまり習わないんです」。それだけに、海の環境問題を取り上げた2014年11月号は新鮮だった。海が真っ赤に染まった恵那の報道写真を見て、「社会科で習ったけど、ここまでひどいとは驚きでした」と話す。

「L2発展」は記述量が多く、少し難しかったが、「知らないことを理解しながら解いていけるので楽しかった」と振り返った。

写真多くて分かりやすい

平日は塾や学校に通い、週末は塾での補習のほかサッカーチームの練習もこなす渡辺悠君は、小学4年生。昨秋から取り始めた朝日小学生新聞を毎日、学校の朝読書の時間に読むのが楽しみという。「L1基礎」については、「文章だけでなくグラフの問題もあって難しそう」と感じたが、慣れるとスムーズに解けるようになった。

報道写真のページが最も面白かったという。「塾で習った内容と重なるところが多かったけど、写真がたくさんあって、塾より分かりやすかった。将来は技術者になるのが夢。」

活発に発言　文章力も格段にアップ

小学生対象の学習塾

首都圏に13教室を展開する幼児・小学生対象の塾、美学社学園幼小教育研究会プリンスジュニア。2014年度から小学校高学年の授業に週1回、「今解き教室」を活用している。

「グラフを見て、高齢者がいる世帯の割合は、約20年間でどう変わったかな」

大町子春美先生が問いかけると、「サザエさんみたいな三世帯同居は4割から2割に減った」「一人暮らしの高齢者世帯は10%増えた」「高齢者世帯の数も倍以上に増えた」と、小4～6年の男子5人がテンポよく答えていく。

八王子中央校での12月13日の授業。取り上げたのは、高齢化がテーマの12月号だった。会話文を読みながら、グラフを読み解く。

授業では問題を解かせるだけでなく、生徒の「意見」も大切にしている。介護に関わる様々な立場の人の声をまとめた会話文を読ませながら、大町先生が発問をする。生徒たちは、介護を受ける男性やその妻、ヘルパーの気持ちを想像しながら、「介護の仕事をする人のお給料はもっと上げた方がいい」「介護ロボットをもっと安く作れないかな」と活発に発言していた。

今解き教室を使った授業の成果について、寺倉幸伸塾長は「短時間で資料やグラフを読み、要点をつかんで文章にまとめる力が格段に伸びてきた。特に男子は夢中で取り組む子が多い」と話す。

保護者からも「時事問題に関心がなかったが、ニュース番組を見るようになった」といった声が寄せられているという。

CMや新聞広告に登場

劇団ひまわりに所属する北村沙羅さんと渡辺悠君はこれから、今解き教室のCMや新聞広告で活躍します。北村さんには小6～中学生向けの「L2発展」、渡辺君には小4～6年向けの「L1基礎」に取り組んでもらいます。CMは3月からホームページなどで公開予定です。

表彰状

語彙・読解力検定
奨励賞
東京都立
板橋高等学校殿

貴団体は二〇一四年度第二回語彙・読解力検定において頭書のとおり優秀な成績を収められましたので ここにその栄誉を称え 表彰します

平成二十六年十一月二十九日
株式会社 朝日新聞社
株式会社 ベネッセコーポレーション

語力検定　高成績・積極的 優秀団体を表彰

朝日新聞社とベネッセコーポレーションは、昨年11月の「語彙・読解力検定」で成績が優秀だったり積極的に取り組んだりした団体を表彰した。100人以上が受検して70%以上が合格した「優秀団体賞」は42団体、500人以上が受検した「奨励賞」は7団体だった。

【優秀団体賞】金ケ崎高、東北学院榴ケ岡高、いわき秀英、茂木高、不動岡高、国学院久我山中・高、富士見高（東京）、多摩科学技術高、宝仙学園中・高、日本学園中・高、厚木西高、北越高、三条商高、柏崎総合高、糸魚川白嶺高、加茂暁星高、南砺福野高、鵬学園高、松本秀峰、多治見西高付属中、伊東高、愛知高（愛知）、名古屋中・高、海陽（愛知）、三重中（三重）、同志社女子中・高、堺東高、近大付属高・中、奈良育英中・高、智弁学園奈良カレッジ、吉備高原学園高、近大付属東広島高、近大付属東広島中、近大付属福山高、広島新庄高、香椎高、山門高、中津北高、出雲医療看護専門学校、ビーマックスほか2団体

【奨励賞】東北学院榴ケ岡高、杉戸高、板橋高、日大三島高、近江兄弟社高、光陵高（福岡）、興南高